

スポーツ史 学会だより

第142号

2021年9月24日発行

スポーツ史学会事務局

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1

東洋大学総合スポーツセンター

谷釜研究室内

TEL : 03-6454-3182

E-mail : tanigama@toyo.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

I. 事務局報告

1. 会況報告(2021年8月31日現在)

1) 会員総数 225名

(正会員 206名、学生会員 19名)

賛助会員 1機関1名

2) 会費納入状況

2022年度納入者数 4名

2021年度納入者数 130名

2020年度納入者数 211名

2019年度納入者数 213名

2018年度納入者数 214名

3) 今年度会費収入総額 948,000円

2. 会費納入のお願い

今年度(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口(10,000円)以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を超えて会費未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には、一部会員サービスを停止させていただきます。会費納入状況等については、事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

3. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

【理事会】

第157回 2021年9月11日 オンライン形式にて開催

【編集委員会】

第2回 2021年9月11日 オンライン形式にて開催

4. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2021年7～9月号が事務局に届いております。目次のコピーを同封いたしますので、ご関心のある方はご連絡ください。

なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp>からも閲覧可能です。

5. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度にスポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆様にお届けしました。

事務局に若干の余部がございます。所属先の図書館や、図書館以外でも公的機関等に納本して下さるといふ会員に限り、お分けいたしますので、事務局まで必要部数をメールでご連絡ください。申込受付先着順といたします。

なお、送料は事務局が負担いたします。

6. スポーツ史学会 第35回大会について

第35回大会は、以下の通り開催予定です。

期 日： 2021年12月4日(土)～5日(日)

形 式： Zoomによるオンライン学会を予定

第35回大会担当： 福井 元 会員(日本体育大学)

7. ISHPES Sapporo 2020の刊行物について

昨年、開催されたISHPES Sapporo 2020(スポーツ史学会との共催)で公開した企画展示が、北海道大学大学院教育学研究院 身体教育論講座と北大総合博物館とのコラボにより、このたび、eBook『翻訳資料:黎明期のスキー・山岳スポーツ:北海道大学総合博物館《企画展示1・2》』(身体教育論講座刊行)として、無料公開・刊行されました。

ご興味のある方は、北大総合博物館の公式ウェブサイトよりご確認ください。

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/topics/17603/>

II. 理事会報告

1. 第157回理事会

第157回理事会が次の通り開催されました。

期 日： 9月11日(土) 16時00分～19時00分

形 式： オンライン会議(Zoom)

出席者： 松本芳明(会長)、瀧元誠樹(理事長)、
鶴木千加子、市場俊之、佐々木浩雄、林 郁子、
福井 元(学会大会担当)、松浪 稔、矢野裕介、
谷釜尋徳(事務局)

議長： 瀧元誠樹

1. 議事録確認

1) 第156回理事会議事録案の確認

2. メール審議

1) 会員の入会について

2) 会員の退会について

3) 「ひすぼ」第110号の特集テーマ・趣旨について

4) スポーツ史学会第35回大会開催要項案について

3. 報告事項

1) 会況報告

2) 「スポーツ史研究」第35号の編集進捗状況について

3) 「ひすぼ」第110号の編集進捗状況について

4) その他

4. 審議事項

1) 2021年度 事業・会計中間報告について

2) 2022年度 事業・予算案について

3) 学会賞の選考結果について

4) スポーツ史学会 第35回大会について

5) 次期学会大会(第36回大会)当番校について

6) スポーツ博物館リスト更新手続きについて

7) 年間計画について

8) その他

① 次期事務局候補者の選出について

② スポーツ史学会研究助成について

③ 「ひすぼ」第111号特集テーマおよび設定趣旨について

④ 「ひすぼ」の課題と今後のあり方について

5. その他

III. 編集委員会報告

1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2022年3月末発行予定の第35号の編集作業を進めています。

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認ください。

投稿先は、次の通りです。

〒480-1197

愛知県長久手市片平二丁目9

愛知淑徳大学 健康医療科学部 矢野研究室

スポーツ史研究編集委員会 宛

yyano@asu.aasa.ac.jp

IV. 会報「ひすぼ」報告

1. 「ひすぼ」特集テーマの募集について

現在、第112号以降の特集テーマを募集しておりますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

VI. 会員の動向

1. 入会・退会・会員資格喪失・種別変更

<入会>

次の方の入会が承認されました。(敬称略)

学生会員

石立 克己(北海道大学大学院教育学院 博士後期課程) (2021年6月25日付)

清野 宏樹(北海道大学大学院教育学院 博士後期課程) (2021年7月2日付)

藤木 悠(東海大学大学院) (2021年8月24日付)

孫 鶴震(東海大学大学院) (2021年8月30日付)

近藤 雄大(北海道大学大学院教育学院 修士課程) (2021年9月2日付)

<退会>

次の方の退会が承認されました。(敬称略)

遠藤 保子(2021年6月19日付)

2. 所属変更について

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、必ず事務局までご一報ください。その際、ぜひともメールアドレスを併せてお知らせください。所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。

3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の方は、会員資格を喪失します。

現在、3名の方が、2019年度以降の年会費未納となっております。2021年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当する会員は至急会費の納入をお願いいたします。また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。

学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いいたします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いいたします。